ちゅうりっぷぐみだより　11月

社会福祉法人　尚徳福祉会　おぐら保育園

日に日に秋が深まり、戸外遊びが気持ちよく感じられます。子どもたちは体を動かす遊びを中心に、友達といろいろなことに挑戦しています。今、夢中になっているのは爆弾ゲーム。園庭に出ると「爆弾ゲームやろう！」と友達を誘ってルールを守り、毎日楽しく遊んでいます。

また、今月から生活発表会の練習も始まります。「楽しいがいちばん」で、練習していきたいと思います。よろしくお願いします。

いもほり

いもほりするぞ～！と張り切って園庭へ行きました。はじめは片手でパッパッと土を払いのけるように掘っていましたがなかなかおいもが見えず、両手で必死に掘っていました。ようやく掘り出し「あった～！」と嬉しそうな顔がたくさんでした

☆ともだちっていいね☆

友だちとの関わりが増えていく中で、友だちのいいところを見つけて真似したり、「あの子よりももっとかっこよくやってみたい」と頑張ったり、子どもたちのなかでお互いに刺激し合って成長している姿が見られます。

また、時には思いがぶつかり合って、譲り合ったり我慢をしたりする経験も増えてくることで、お家での様子がいつもと違う、気になることを言っている…ということもあるかもしれません。そんな時には担任にお家での様子を教えてくださいね。

バス遠足

雨の中でしたが、わくわくして出発しました。バスの中では一人ずつマイクで自己紹介をしました。水族館では、たくさんの魚をみて、「あれはなんだ！」「こっちに来た！」「きれい！」など歓声をあげていましたよ。イルカショーは拍手をするのも忘れるくらい真剣に見入っていました。

お母さんの作ってくれたお弁当もとっても嬉しそうにたくさん食べていましたよ。帰りのバスではほとんどの子が寝ていました。楽しい思い出になりました。